

ひまわりプロジェクト 2017

栽培報告

「このゆびと〜まれ」 「笠岡市ひまわりプロジェクト」



朝夕と日中の寒暖の差が大きくなり、体調を崩す人も少なくないが、植物たちは日中太陽の光を一杯浴びているようだ。

ひまわりプロジェクト二〇一七は、六月中旬時点で二十七件の個人・団体の協力を得ることができた。福島から送られたひまわりの種は全国で芽を出し、葉を増やしてすくすくと成長しているようだ。全国から寄せられたひまわりの栽培報告の中から「このゆびと〜まれ」さんを紹介したい。

また、今号では岡山県笠岡市にてご協力いただいている「笠岡市ひまわりプロジェクト」の皆さんもご紹介する。こちらには毎年「ひまわり子ども大使」を派遣しており、今年も福島の子どもたちが大使として訪問する予定である。

(Y・K)

●山口県柳井市 「このゆびと〜まれ」 さんの栽培日記

6月13日

五月二十七日にひまわりの種を家族で植えました。四才の娘にペットボトルで等間隔に竹串を刺してもらい嫁が種を植えました。

雑草対策で粉殻を撒いていきます。植え終わったら達成感でみんなハイタッチしちゃいました。「葉っぱが増えた」「おっきくなってる」と子どもたちも大はしゃぎです。けど一番率先してやっているのはホースでの水やりですが(笑)

ひまわりも子どもたちもびびしやびしやになってひまわりの周りは笑いが絶えません。

だいが大きくなってきました。今日は家族で草抜きをしました。順調に育っています。



だいが大きくなってきました。今日は家族で草抜きをしました。順調に育っています。



6月17日

今日現在のひまわりです。

おひまわり！ 瀬戸内海を中心に！

「笠岡市 ひまわりプロジェクト」 (岡山県笠岡市)

皆さんこんにちは。私たちは、瀬戸内海と真ん中の岡山県笠岡市で、ひまわりの栽培を通じ福島と全国を結び「ひまわりプロジェクト」を行っている仲間たちです。

毎年、夏休みに福島の生徒さんを「福島大使」として岡山にお招きして、瀬戸内海の島々で海洋体験などの楽しい思い出づくりに取り組んでいます。昨年は、海水浴でのパーベキュー、タコの天ぷら、そつめん流しな

ど地元に住民の方々が腕をふるった料理を満喫。また、地元高校との交流事業では、被災地の現状などを説明していただきました。なんと、アジア最大級の大きさと世界一の技術を兼ね備えた京都大学三・ハメートルの反射望遠鏡の建設も見学させていただきました。すごい！

そして、最終日には、毎年一〇〇万本のひまわり畑で開会される「ひまわりフェスティバル」に出演します。

岡山県笠岡市から福島まで、二〇〇kmも距離がありますが、皆さんの気持ちはこんなに近いのです。福島はこんな

に近くにあるのです。一粒のひまわりの種から出発したこのプロジェクトですが、希望をのせて広げていきたいと思います。

福島の今を伝える「ひまわり大使。がんばれー！

おっと、皆さんに伝えなければならぬことがあります。あの「空のF1」レッドブル・エアレースで、唯一の日本人パイロットとして活躍する室屋義秀選手と笠岡市の繋がります。毎年、笠岡市の農道離着陸場で開催される航空ショーでは、メインゲストとして十八年連続でア

「空のF1」室屋さん 福島とのきずな ヒマワリ育てて

なじみの笠岡へ種運ぶ

東日本震災の被災地・福島に笠岡をつなぐきずなを「ヒマワリ」を大きく育てて「空のF1」レッドブル・エアレースで、唯一の日本人パイロットとして活躍する室屋義秀さん(44)が6日、愛機にヒマワリの種を積み、笠岡市カブト四町に降り立った。室屋さんは笠岡市千拓地で毎年秋に開かれる「天空と大地のカバー」に16年連続で出演、NPO法人「



「空のF1」室屋さん(福島市)に計画したエアレース第2戦戦優勝を尽くして、2度目の優勝を果して勝ちに行くと抱きかかっていた。室屋さんは4月に来日して、今年初の「空のF1」に挑戦した。室屋さんは「空のF1」に挑戦した。室屋さんは「空のF1」に挑戦した。

▲山陽新聞 H29.5.9(火)掲載の記事

ひまわりプロジェクト2017 栽培報告お送り先・お問合せ先

NPO法人シャローム
「ひまわりプロジェクト」実行委員会
〒960-8035 福島県福島市本町 5-31
(まちなか夢工房内)
TEL/FAX : 024-563-1680
Mail : yukari.k@nposhalom.net (担当 川島)
blog : http://shalom-net.jp/himawari/

よろしくお願ひます

